

様

説明日 年 月 日

担当薬剤師

★治療について

レジメン名	1コースの期間	診療科	適応疾患	コース数	コース開始日
XELOX+Get21	21日間	外科・内科	結腸・直腸がん	コース目	

★治療スケジュール

以下の治療スケジュールで繰り返し行います。症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

投与順	投与経路	薬品名	投与量 投与時間	実際の 投与量	実施日																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16~21		
1	点滴 静注	デキサート (過敏症予防)	6.6mg/2mL	6.6mg/2mL																		
		グラニセト ロン (吐き気止め)	3mg/100mL 30分	3mg/100mL	●								●								●	
2	点滴 静注	アービタッ クス 生理食塩液 250mL	初回 400mg/m ² 2時間	mg																		
			2回目以降 250mg/m ² 1時間		●																	
3	点滴 静注	オキサリプ ラチン 5%ブドウ糖注 250mL	130mg/m ² 2時間	mg	●																	
	内服	ゼローダ (カペシタピ ン)	2000mg/m ² /日 1日2回	mg/日 1回錠		朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝	朝
						タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ	タ

【副作用軽減のために使用するお薬】

レスタミン錠:過敏症予防のため、吐き気止めの点滴と同時に5錠服用します。

★注意事項など

この用紙は、かかりつけ医や保険調剤薬局の薬剤師へご提示ください。

★保険調剤薬局薬剤師の方へ

服薬状況や副作用等報告事項がありましたら、「患者情報連絡書」にて報告をお願いします。

「患者情報連絡書」:碧南市民病院HP→部門紹介→薬剤部→薬薬連携に掲載

FAX(地域連携室):0566-46-3774

【緊急時連絡先】碧南市民病院 薬剤部 TEL:0566-48-5050(代表)

XELOX+Cet21の副作用について

★起こりやすい副作用と発現時期の目安

これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。また、発現時期には個人差があります。

副作用	発現時期(日)																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22日目以降
白血球減少																						
貧血																						
血小板減少																						
低マグネシウム血症																						
末梢神経障害(急性)																						
末梢神経障害(慢性)																						
悪心・嘔吐・食欲不振																						
倦怠感																						
手足症候群																						
下痢																						
にきび様皮疹・皮膚乾燥																						
そう痒(かゆみ)																						
爪囲炎																						
口内炎																						
血管痛																						
過敏症																						
インフュージョン・リアクション																						

★起こりやすい副作用と対策

〈血液検査からわかる副作用〉

● 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、抗がん剤の影響で白血球が少なくなると、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

● 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

● 血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

● 低マグネシウム血症

血液中のマグネシウム量が減少することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、マグネシウムの量を確認します。

〈ご自分でわかる副作用〉

● 末梢神経障害

投与後、冷たい物に触ると、一時的に手足にピリピリとした痛みが出ることがあります。しかし、投与する回数が増えると、常に手足がしびれた状態になり、回復するまでに時間がかかります。しびれが強い時は、治療を休んだり、中止することもあります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

● 悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

● 倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

● 手足症候群

手のひらや足の裏が赤くはれたり、ヒリヒリ・チクチクすることがあります。症状が強くなると、皮膚のひび割れや水ぶくれなど日常生活に支障をきたすおそれがあります。休薬が必要な場合もあるので、痛みが強い場合には、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめに保湿剤を使って皮膚が乾燥しないように心がけましょう。

● 下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりとりましょう。

● にきび様皮疹・皮膚乾燥

多くの方に認められる症状です。早ければ、治療開始数日～1週間後に顔や胸、背中にニキビのような皮疹がみられ、1～2週間頃にもっとも強く出るといわれています。次第によくなりますが、治療開始3～5週間後、皮膚の乾燥が強くなってきます。皮疹にはステロイド軟膏、乾燥には保湿剤を使います。

⇒皮膚症状を軽くするためにも、日頃から保湿を心がけてください。

● そう痒(かゆみ)

● 爪囲炎

治療開始4～8週間後に手足の爪の周りの皮膚に炎症が起こります。ひどくなると、爪の周りの肉が盛り上がり、強い痛みをとまいません。

⇒症状の軽いうちから早めにケアしていきましょう。保湿もあわせておこなうことが重要です。

● 口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることもあり、うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

● 血管痛

抗がん剤の刺激によって、点滴中～点滴後に血管に沿って痛みがでることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら、我慢せずにスタッフに声をかけて下さい。

● 過敏症

点滴中にアレルギー症状がおこることがあります。『息苦しい』『胸が苦しい』『心臓がドキドキする』『発疹がでる』『顔がほてる』『汗がでる』『顔や体がかゆい』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

⇒アレルギー症状は、多くの場合、点滴を始めてから数分でおこります。

● インフュージョン・リアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出る場合があります。『寒気』『気分が悪い』『顔や体がかゆい』『息苦しい』『頭痛』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

★すぐに連絡をいただきたい副作用

- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)
- ★「皮膚のかゆみ」、「じんま疹」、「声のかすれ」、「くしゃみ」、「のどのかゆみ」、「息苦しさ」、「心臓がドキドキする」、「意識がもうろうとする」、「熱っぽい」、「急に寒気がする」、「ふらつく」(過敏症)

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。碧南市民病院 (代表)0566-48-5050